



西陣織の伝統の技を見て、 お話を聞く

西陣織の各工程ごとの工房をめぐり、
職人さんたちの現場でお話を聞き、
西陣織の工程を理解してもらい
現地で直売等をしてもらうことができます。

「萬転」^{よろず}萬ものごと ^{ころ}福に転がる

旅行を通してお客様に喜んでいただくことが
私たちの喜びです。
お客様と感動を共有できる企業を目指します。
全てのことが好転していきますように。

会社概要

名称：萬転(まんてん)
代表者：西河 豊治
住所：〒603-8224 京都市北区紫野西藤ノ森町18
電話：075-414-3366
FAX：075-414-3367
営業時間：10:00～18:00
店舗休日：日曜・祝日

創業：平成16年10月5日
加盟団体：社団法人全国旅行業協会
社団法人全国旅行業協会 青年部
社団法人京都青年会議所
京都商工会議所 観光部会
京都商工会議所 青年部(YEG)
京都市北消防団 紫野分団
バリアフリー旅行ネットワーク
有資格：京都府知事登録旅行業第2-525号
一般旅行業取扱主任者資格
国内旅行業取扱主任者資格
一般旅行業務旅程管理者
国内旅行業務旅程管理者
ホームヘルパー2級取得(訪問介護員養成研修2級課程修了)
大型二種免許取得
一般乗用旅客自動車運送事業許可
普通救命講習終了

満足満点旅行企画 萬転

〒603-8224京都市北区紫野西藤森町18
電話 075-414-3366 FAX075-414-3367
Eメールnishikawa@n-car.co.jp
営業時間：10:00～18:00 店舗休日：日曜、祝日



西陣の職人たちと出会う旅



満足満点旅行企画
萬転

京都府知事登録旅行業第2-525号



【西陣織のはじまり】

京都で織物作りが始まったのは、平安京が築かれるよりも前の5世紀頃のこと。また、平安遷都とともに宮廷の織物を管理していた「織部司」と呼ばれる役所が置かれ、今の上京区黒門上長者町あたりに住んでいた職人に、綾・錦など高級な織物作りを奨励し発展したといわれています。

西陣の職人たちと出会う旅

**定番の観光ツアーでは
味わえないほんまもの技、
人と人との出会いを
楽しんでください。**

西陣織の完成までには20を越えるプロセスがあり、それぞれの工程が分業化されています。

各工程に高度な技術と豊富な知識が要求される西陣織。

その工程のいくつかを実際に見学させていただきます。

また、職人さんのお話を聞いたり、

実際にお気に入りのものがあれば、

メーカー直売価格で商品を購入していただくこともできます。

きっと今までの観光ツアーで味わえなかった楽しみが

見えてくるはずです。



【西陣織の由来】

1467年応仁の乱が終わると、各地に離散していた織物職人たちがもともと京都に戻り、山名宗全率いる西軍の陣地が置かれていたあたりで、織物作りを再開します。戦乱以前から織物の町として栄えていた京都北西部の一带が「西陣」と呼ばれるようになったのはこの頃から。西軍の陣地跡だから「西陣」です。



【スケジュール】

着時 滞在時間 出発時間 ツアー先

スケジュールは
変更になっております
お手数ですが、
ホームページを
ご参照願います。

15:00 北六路駅 解散

【西陣織の工程】

織物を生み出すためには、多くのプロセスを経なければなりません。そして、その分野ごとに専門の技術をもった人々が存在しま



す。蚕から絹糸をとり、織物の種類に適した撚り糸をつくることにはじまる糸の道。

西陣の特色である先染めの紋織物であるために、糸染めの工程は重要視されています。このほか、デザインつまり意匠も大切なポイントになります。そして、そのデザインは、織物の設計図に描き直されるわけです。

その設計図をみながら、紋紙とよばれるパンチカードに穴をあけてゆきます。最近では、この工程をコンピューターに仕組んでいるところも多くなりました。さて、つぎの段階は、糸染です。糸染は生糸の総糸をほどいてきものや、帯のたて糸、よこ糸を染め分ける作業です。つぎは、たて糸をそろえる仕事があります。整経(せいけい)がそれです。それが終ると綜絢です。たて糸を、織機につなぎ合わせる作業。これではじめてよこ糸が通じて文様が織りあがってゆきます。これらの準備工程を、西陣では「機ごしらえ」と言っています。



こんな状態で、西陣の分業の部分は、それぞれの世界があって、いろいろな人たちが、西陣という地域のなかで助けあって生きています。